

第7．有馬温泉街の散策

1．チェックアウト後、エクシブ有馬離宮で写真撮影

部屋を出てチェックアウトを済ませると、せっかくの記念だからと、有馬離宮の広大な中庭で写真撮影。(写真第7 -)

2．有馬温泉街の散策

(1) 今日には10時50分の特急バスで大阪に戻り、莫言と毛丹青はそこで私と別れて京都へ行き、さらに莫言は読売新聞の担当者と合流して東京の講演会に行く予定。そこで、バス乗り場に着いた後はそこに荷物を置き、3人はしばし有馬温泉街の散策へ。(写真第7 -)

(2) 有馬といえば、「金の湯」、「銀の湯」だが、土産店のある情緒豊かな湯本坂を歩いていくと、いろいろと珍しい風景が広がっていたから、あちこちで写真撮影。最初に目についたのは、台の上に行儀良く(?)座っている1匹の猫。そこで芸術写真の大好きな私たちは、シャッターを次々と(写真第7 -)。有馬温泉は太閤秀吉が愛した湯だから、北政所館がある(写真第7 -)。また、極楽寺では毛丹青が名カメラマンよろしく、カメラ位置をさかんに下に持って行きながら、階段上に立つ莫言と私を撮影してくれた(写真第7 -)。その後、足湯を珍しそうに眺める莫言(写真第7 -)や、工芸土産店を興味深そうに眺める毛丹青(写真第7 -)などを写真撮影。バス停に戻ると、今度は反対側の太閤橋まで行ってみようということになり、ねねの像が立つ涼しげな有馬涼風川座敷を見学しながら(写真第7 -)、太閤橋の前で記念撮影(写真第7 -)。

3．特急バスで梅田へ、そして謝謝！再見！

(1) 以上のとおりバスの待ち時間を温泉街散策で有効に活用した後、55分間のバスタイムは四人四様の熟睡タイム。梅田駅に到着し、荷物を受け取った時点で、私は莫言、毛丹青と謝謝！再見！

(2) 莫言先生の東京での講演会の成功を祈ります。また、今回の対談を企画してくれた毛先生ありがとう。

以上